

(様式2)

2020年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

I	スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II	マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III	スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV	日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V	スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 静岡県 】

学校名【 磐田市立東部小学校 】

1 実践テーマ	V
2 実施対象者 (学年・人数)	第6学年(136名) 第5学年(137名)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 <i>次の5つのうちから選択し○をつけてください</i> ① 教科名(総合的な学習の時間) ② 行事名() ③ その他() (2) 地域における活動 ① イベント名() ② その他()
4 目標 (ねらい)	オリンピックとのふれ合いを通して、スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成を目指す。
5 取組内容	<事前学習として> ・児童に、オリンピックの歴史や意義、オリンピックに向けた選手の取組・努力等について、道徳の授業や学級活動、朝の会や帰りの会での教員の話の中で伝えた。 <オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業> ・オリンピックによる講話 講師：新竹優子(北京・ロンドンオリンピック体操競技女子日本代表) ○テーマ「将来の夢について考える」 学校教育目標「夢をもち みんなと学ぶ たくましい子」に照らして、キャリア教育と関連付けた話をしていただいた。 ・競技との出会い、喜び ・仲間、コーチ、家族等の支え ・努力することの大切さと大変さ ・日々の中で困難なこと、それを乗り越えるための心構え ○児童からの質疑に対する選手の応答 Q ライバルがいると思いますが、なぜその人をライバルにしたのですか。 A ライバルはいないが、あこがれの選手はいた。 Q 演技の本番前は、どんなことをしていますか。

- A いつも通り、特別なことをせず。よいイメージを描く。
- Q どうやって体を柔らかくしたのですか。また、どうすれば体をもっと柔らかくすることができますか。
- A 毎日の柔軟体操。継続の大切さ。
- Q 世界で活躍していくために必要なことは何ですか。
- A 自分の強みを伸ばすこと。そのための努力の積み重ねを。



<p>6 主な成果</p>	<p>オリンピック出場までの努力、けがを乗り越える時の苦労や乗り越えた後の「支え・感謝・楽しさ」といった気付き、「続けてこそその可能性。目標に向かって頑張ることが大切」といった内容を、オリンピックだからこそ語れる生きた声として、直接、子供たちに届けることができた。大変分かりやすく講演していただき、子供たちが真剣に話に聴き入る姿が見られた。</p>
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<p>当初は、直接本校に来ていただき、演技を交えて御講演いただく予定だったが、感染症予防のため、リモートでの開催に切り替えて実施した。密を避けるため、講師と各教室(5・6年生各4クラス、計8クラス)をZoomで結んだ。各教室にカメラを設定して、講師に子供たちの表情が見えるようにした。さらに、双方向で会話ができるようにして、講演の後に、質疑応答の時間を設けた。講師が、映像やプレゼンテーションを用意したため、話の内容が子供たちに伝わりやすかった。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>リモートでの開催に大きな可能性を感じる一方で、直接触れ合う(オリンピックの演技を目の前で見る等)機会があると、よりオリンピックを身近に感じられるのではないかと思った。</p> <p>リハーサルをして本番に臨んだが、電波状況により映像がフリーズするトラブルがあった。幸い、すぐに復旧したが、そういったトラブルがあることも踏まえて、時間にゆとりをもたせておく必要があると感じた。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>次年度以降も、高学年の総合的な学習の時間と関連させ、「将来の夢について考える」をテーマに、学校教育目標「夢をもち みんなと学ぶ たくましい子」に照らして、キャリア教育と関連付けた話をしていただきたいと考えている。オリンピックだからこそ語れる内容に直に触れ、子供たち一人一人が主体的に自分の将来の夢について考えていく契機としていきたい。</p>